

(様式⑦-1 小学校・中学校)

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像	豊かな心をもち、自分の良さを知り、人とつながり共同する子	堺市立 南八下小 学校 校長 木嶋 美雪
-----------------	------------------------------	-------------------------

令和7年度 重点目標	楽学の実現:社会の一員として「今の自分にできること」を考えながら探究できる児童の育成 ①楽学Spirits - 学び続ける・共に学ぶ・学びを楽しむ ②学びの3つの柱 - チャレンジする楽しさ(個別最適な学び)・夢中になる楽しさ(探究活動)・他者と協働する楽しさ(協働的な学習)
------------	---

確かな学びの現状 学びのコンパスを意識した探究的な学びが定着しつつある。各単元での課題解決のため、見方考え方を働かせ、自分で探究できるようになってきている。また、学び方に対しても自ら振り返り自己調整できる様子がうかがえるようになってきた。課題としては、各教科での学びが生活の中にどのように結びついているか、体験しながら学びを深めることが必要。また、基礎学力の部分で語彙力、計算力、情報活用能力の意識的な育成は引き続き取り組む必要を感じている。	豊かな心・健やかな体の現状 楽学の実現を目指し、学級の中ではクラスを良くするための会社活動や、児童会活動で児童が主体的に取り組む姿が見えてきた。あいさつを学期の目標として啓発することで、個々で挨拶ができる児童が増えてきていると感じる。人権教育では特にジェンダーバイアスに重点を置き、登校帽子や集会時の並び方、更にはPTA役員などにおいても性別で分けることを廃止した。児童のけがによる保健室の来室数が増えていた。体力向上と併せて、引き続きけがの未然防止、また重症化しないような対応を考えて行く必要があると感じる。登校渋り等、家庭との連携を継続する。
--	--

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)		達成状況(年度末)			
									自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	基礎学力	データを活用した授業改善	パフォーマンス課題とルーブリックを基準として、教科の本質の理解度を確認する	各教科での評価	授業観察評価	学期末	12月					
			各種学力調査や評価結果から改善する授業の実施	授業改善 校内研修	研修	学期末	12月					
	探究活動	探究的な学びを通して	生活・総合を軸とした学年毎のカリキュラムマネジメントの実施	年間指導計画と実施状況の確認	授業観察 進捗確認	学期末	12月					
			探究的な学びサイクルを活用した学び方と情報活用能力の育成	途中経過の共有と日々の実践	授業観察 実践報告	学年末	12月					
			校内研修や公開授業に向けて探究グループによる授業研究の推進	校内研修の実施と振り返り	公開授業 振り返り	年度末	12月					
	豊かな心・健やかな体	道徳感の育成	デジタルシティズンシップの考え方を土台とした人権教育と道徳教育の推進	DC授業や児童会活動、保護者も一緒に考える取り組みの実践	啓発活動の実施と振り返り等	実施回数	年度末	12月				
生徒指導対応の向上と未然防止対策				ケースの記録と分析	データ分析	年度末	12月					
行き渋り児童への早期対応と必要におうじて外部連携				ケースの記録と分析	データ分析	年度末	12月					
体力向上		体力向上 健康推進	日常生活の中でできる取り組みについて立案、実施	実施内容や回数	全国体力・運動能力調査等	年度末	12月					
			ケガなど未然防止や、体調管理を推進	保健室の訪問記録と内容の分析	訪問記録数	年度末	12月					
地域との連携			中学校区・地域との連携 社会との関りを深める	同じゴールを見据えて、小中合同授業研究の実施、教職員の連携を強化する	研修の実施に関わる連携等	合同研修の実施と振り返り	年度末	12月				
	校区を超え区や市、大学や企業などにも関わり本物に触れる機会を増やす			地域人材活用と関わる活動の推進	実践報告と発信	年度末	12月					
校長より(年度末)								学校関係者評価者から(年度末)				